

- 働き方改革と積極的な育成指導で農業後継者を育成
- 社訓として「真剣・集中」・GAPの精神・4S、こだわり米生産農家、減農薬・減化学肥料・無農薬米などブランド米をめざす。

(有)神扇農業機械化センターの概要

【設 立】平成14年12月

【代表者】船川 由孝

【売上】1億円

【事業内容】稲作栽培、苗・米の販売

【経営面積】米100ha

【主要取引先】イトーセーブ、木徳神糧、JA

【従業員数】正社員3人、パート・アルバイト3人

【所在地】埼玉県幸手市神扇1570

農の雇用事業における会社の取り組み

【研修内容】

《1年目》 圃場のことを覚え、作業を理解させる。機械や車の運転作業などを覚える。

《2年目》 稲作の栽培技術を理解させ、1月から12月までの作業を理解してもらい、意見を聞く。

【特長的な取組】

- ・研修生には毎日の記録を付けさせる。
- ・先輩社員から後輩社員に一部指導させる。
- ・会社の技術や方向性を共有するようにしている。

→自らの業務内容を振り返ったり、社員どうしの繋がりを強化したりし、自己研鑽や会社全体の連帯感を強化することで、会社の技術・今後の展開や方向性を共有し、さらなる発展ができるようにしている。

働き方改革の取り組み

- ・原則として、残業はしない。
- ・農繁期でも、休日を交代で取得。必要に応じてアルバイトを雇って対応する。
- ・スマート化など、機械化を進める。

➡ 働きやすい職場づくりで、定着率UP!!

